

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和7年度期末）

（評価基準）

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

(1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・ 地区防災計画の改訂支援に取り組んできたほか、地域からの要望に合わせて HUG 避難所開設訓練の実施等のサポートを行ってきたことにより、地域主体で HUG 避難所開設訓練を実施する地域もあるなど、地域の防災力向上に繋がっている。 ・ ホームページにこれまでの企業や専門学校等との連携事例をアーカイブとして掲載することで、企業等と地域の双方が連携のイメージを持つことができ、連携しやすい環境づくりに取り組んでいる。 ・ さらなる自律的な組織運営をめざして、外部講師により「会議を見える化する」というテーマでホワイトボードミーティングの手法を通じた民主的な会議の進め方を学ぶ講座を開催する等、地活協の組織の強化に繋がる支援を行った。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

(1) 自由提案による地域支援の実施状況

(2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等

(2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等

(3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・ Instagram やホームページの更新など情報発信ツールを活用し、積極的に情報を発信することにより、日ごろ地域活動に関わりの薄い世代へのアプローチを行っている。 ・ アドバイザー、支援員による支援体制を整え、本部や他区を受託しているまちセンと情報交換することで、スケールメリットを活かした効果的な支援を行っている。 ・ 支援員を地域担当制にし、積極的に地域に出向き、まちづくりセンタ

	一が有するファシリテート能力などを活用し、地域との信頼関係構築に努めるとともに、各種会議等へ参加することで、区の方針・政策に沿った地域支援につなげている。
--	---

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
B	・地域がイベントを開催する際に、企業や専門学校等とのマッチング支援を行うことにより、地域と企業等との継続した連携となってきたものも見られる。 ・淀川区では転出入者が多いことから、来庁者の多い3月中旬から4月中旬及び、夏まつりの時期に合わせ7月中旬に各地域の広報の展示会を実施し、地域の取組に興味を持ってもらう機会づくりができた。 ・外部から講師を招いて講座を実施するなど、様々な知識の提供や専門家との繋がり場の場を提供している。

4 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

(1) アンケート調査

(2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組

「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	・「地域活動協議会が、地域の実情やニーズに即した支援が実施されていると思う割合」は77.8%、「まちづくりセンターの支援について満足している割合」は83.3%と高水準であり、地域の満足度は高い。 ・自律的運営に向けた地域活動協議会の取組については、基本点が100点の地域は18地域中15地域、発展も含めた総合点でも18地域すべてで75点以上となっており、非常に高い点数を維持している。

5 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	・地域と企業等との連携や防災取組への支援内容などについて評価できるとともに、よどまち未来セッションを開催するなど当区が求める支援内容の水準に達している。 ・若い世代や転入者などが地域活動に関心をもってもらえるよう、SNSを活用した広報や地域の情報発信の支援などより一層の取組を期待する。

	・地区防災計画の PDCA サイクルに向けた支援について、今後の地域の防災力向上につながる支援を行っていただきたい。 ・企業、学校、NPO 等と地域活動協議会の連携を支援し、活動の担い手のすそ野が広がるような具体的な取組を進めていただきたい。 ・日頃より地域ニーズの把握にアンテナをはることにより、各地域が求めている支援を洗い出し、その解決策の提案をより一層きめ細かく進めていただきたい。
--	--